



元組合員でもある店長の小林さん(右)

オンリー牛

相模原駅 徒歩3分

【府中国立・書記・佐藤瑞樹通信員】府中国立支部・後継者対策部長の渡邊さんが足繁く通うお店、『オンリー牛』。相模原駅徒歩3分のステーキ屋で、店長は東京土建の元組合員・小林さんです。

元々は塗装屋さんで、分会では分会長。日々仕事に励んでいたところ、知り合いから飲食店の店長にならないかと誘われたそうです。小さい頃から飲食店の店長になることが夢だった小林さんは、男43



(654)



歳、最後のチャンスというところで、店長になることを決意。「年度途中で分会長を降りることになり、仲間に迷惑をかけたことは申し訳ないが、僕が焼いたステーキを食べてもらい、本気でやっていけることを示せれば」と小林さん。

小林店長は元分会長 ファミカ提示で8%割引に

渡邊さんは、「オンリー牛」では、店長の軽快な会話を楽しめるのもポイントの一つ。小林さんは職人らしくない口調でみんなを盛り上げることができ、貴重な人材。正直、土建を続けてほしかったが、夢と言

われちゃ引き留められない。食へに来ることで夢を応援したい」と話してくれました。今回の取材時に渡邊さんが交渉し、どけんファミリカード提携店になっていただきました。カード提示で会計から8%引きになります。

【メニュー】	
ハラミステーキ	980円
(200g)	
サーロインステーキ	1680円
(300g)	
テンドーロインステーキ	1780円
(200g)	
ハンバーグステーキ	780円
(150g)	
生ビール	680円
(ハイネケン)	
営業時間	11時～24時(日)
木曜日、11時～22時(金・土曜日)、定休日なし	
相模原市中央区水川町17-9	
(駐車場1台分あり)	
☎042170718202	



和記念公園でガイドボランティアを始めた。広島市が制度化した被爆体験伝承者としても活動している。しかし中学生の時に、広島で「原子力平和利用博覧会」が開催され、米国のマシックハンドなどを見た伊藤は原子力の未来に夢を抱き続けた。そうした伊藤の安全神話を崩したのが福島原発事故だった。伊藤は伊方原発運転差止広島裁判で原告団副団長となった。

忘れえぬこと

語学留学inハワイ 路上での再会相手は...



石工 宮田清志



石工 宮田清志

45年前の20歳の私は、唇は石工の手元として働きのながら、夜はASIJ(アメリカンスクールインジャパン)で英会話を学んでいました。あるとき事務局長から「ハワイ大学で夏期講習があるけどトライしてみないか」と誘

われました。約1カ月と長い講習のため、仕事があるからと断っていましたが、何度も話を聞くうちに興味が湧き、行く決意をしました。現地の宿泊はハワイのアラモアナショッピングセンター近くのパゴダホテルです。キッチン付きの部屋に同世代3人がルームメイトとなって、日本とはまったく違う新鮮な毎日を楽しく過ごしました。3人で初めてのヒッチハイクをして行った「ハナウマベ」。

世界は狭いなと思ったものです。ダンスパーティーは、盛り上がったこと言うまでもありません。ただ映画と違うのは再会相手が、男女達だったことでした。(村山大和)

「ホールオブアイズ」を注文し、おにぎりを想像して待っているというアイスクリームディッシャーでご飯をお皿に盛ったものだったり、ホテル横のピザハウスでパイナップルが乗ったデザートピザを初めて食べた。生活のすべてが驚きであり、楽しい経験でした。そんなある日、大学のダンスパーティー会場に向かう途中、道路の反対側に見覚えのある人がいました。ほぼ同時に気が付き、指を差し合い、お互いの名を呼びながら道路の真ん中でハグをしていました。なんと中学の同級生と映画のワンシーンのような再会をしたのです。

しかし、西日本豪雨災害の被害が拡大していく中で、死刑執行に疑問が残る。国会でのカジノ法案の審議より災害対策だろうという声も聞こえる中で、死刑執行に国民の関心を集めて、どうしようもないのか。執行の前日に自民党議員は酒宴を議員会館で開いたという。危機管理をどうしように考えているのだろうか。

新・日本の階級社会
橋本健二

代を生きていながら互いの苦しみや悲しみ、希望を知ろうとしない「安定」は偽りでしょうと思いつつ、労働者階級の私は「安定」に安住しているのかと自問。さらに、格差社会の克服を妨げる強力なテクノロジーである「自己責任論」は「貧困を生みやすい社会のしくみ」と、それを作り出し、また放置してきた人々を免罪しようとするものと、免罪させてなるものかと思いつく。自分責任論の手強さにスルーしていかないかと思いつく。かつ、行動と思考を止めている場合ではないですよ、と発奮した。

アンダークラスは「相互に連帯するような機会をもたない。格差に対する不満と格差縮小の要求が、平和への要求と結びつかず、排外主義と結びつきやすくなっている」。連帯の機会を丁寧に作り、格差社会克服と、現行憲法による平和を求め続けよう。(講談社現代新書・972円税込)

新・日本の階級社会 橋本 健二

負の連鎖解消と格差社会克服を提言

従来の4階級(旧中間、資本家、新中間、労働者)が、労働者階級の分裂、「アンダークラス」の登場で5階級になり、日本の階級構造は大きく転換。「アンダークラス」という下層階級を犠牲にして、他の階級が、それぞれに格差と差異を保ちながら、それぞれに安定した生活を確認する「社会」と指摘する。

支配・抑圧、苦しみへの「犠牲」の上の「安定」、同時

詰将棋

持駒
桂 一
歩 二
香 三
飛 四
馬 五
車 六

6	5	4	3	2	1
		飛	馬	車	歩
		香	馬	車	飛
			香		

チヨット一服(971)
オウム真理教の麻原彰晃ら7人の死刑が執行された。テレビ各局では執行の情報が入ることリアルタイムで報道した。死刑執行はショーではないとの批判も出たが、カルト教団が犯した一連のテロ事件は許しがたく、多くの人の関心を集めた。

しかし、西日本豪雨災害の被害が拡大していく中で、死刑執行に疑問が残る。国会でのカジノ法案の審議より災害対策だろうという声も聞こえる中で、死刑執行に国民の関心を集めて、どうしようもないのか。執行の前日に自民党議員は酒宴を議員会館で開いたという。危機管理をどうしように考えているのだろうか。

ほん

新・日本の階級社会 橋本 健二

代を生きていながら互いの苦しみや悲しみ、希望を知ろうとしない「安定」は偽りでしょうと思いつつ、労働者階級の私は「安定」に安住しているのかと自問。さらに、格差社会の克服を妨げる強力なテクノロジーである「自己責任論」は「貧困を生みやすい社会のしくみ」と、それを作り出し、また放置してきた人々を免罪しようとするものと、免罪させてなるものかと思いつく。自分責任論の手強さにスルーしていかないかと思いつく。かつ、行動と思考を止めている場合ではないですよ、と発奮した。

アンダークラスは「相互に連帯するような機会をもたない。格差に対する不満と格差縮小の要求が、平和への要求と結びつかず、排外主義と結びつきやすくなっている」。連帯の機会を丁寧に作り、格差社会克服と、現行憲法による平和を求め続けよう。(講談社現代新書・972円税込)